

メッセージアウトライン

日付	2014年9月14日
単元	基本的な教理・2
テーマ	信仰による義認
タイトル	救い・3 恵みと信仰によって
テキスト	ローマ3:23-24、エペソ2:8-9
参照箇所	マタイ20:28、マルコ10:45、ヨハネ5:24、16:8、使徒2:21、16:30-31、ローマ3:10、6:23、Iコリント1章、IIコリント5:10、ガラテヤ3:11、IIテモテ1:9、ヘブル11章、黙示録20:11-15
暗唱聖句	ローマ3:23 or エペソ2:8-9

導入	今日も、「救い」について、お話します。私たちは、救われるために何をしなければならないのでしょうか？
I	「義と認められる」とはどういうことでしょうか？（義認について、ローマ3:24） A. 義とは、神さまの定めた律法の基準に合っていることです B. 律法によって義と認められる人はだれもいません（ガラテヤ3:11） C. イエスさまを信じる人は、最期の裁判で「義と認められ」ます
II	神さまは、私たちを恵みによって義と認めてくださいます（恵みについて、ローマ3:24） A. 「恵み」というのは、神さまから一方的にいただく賜物（プレゼント）のことです B. イエスさまは、十字架の死によって、罪人の刑罰を負ってくださいました C. 罪人が神さまの裁判で義と認められるのは、ただイエスさまの十字架の恵みによるのです
III	神さまは私たちを信仰によって義と認めてくださいます（信仰について、エペソ2:8-9） A. 行いによって義と認められることはありません B. それはだれも誇ることがないためです C. 恵みを受け取る方法は、ただイエスさまを信じるだけです
結論	イエスさまを信じる信仰によって、神さまは私たちを義と認めてくださいます
適用	1. 今、あなたも「救い」という、神さまからのプレゼントを受け取ってみませんか？そうすれば、あなたは義と認められます。天国に行くことが約束されます。ただ、それは信じる信仰によります。聖書のことが全部わかるからではなく、良い行いでもなく、ただ信じる人はだれでも救われるのです。 2. あなたが救いの恵みを受けることができたのは、あなたのチカラではありません。あなたがどんな経緯で救われたか考えてみてください。全ては神さまがしてくださったのです。感謝しましょう。エペソ2:8-10を読みましょう。恵みによって義と認められたのですから、もう罪を犯すことがないように、かえってこれからは良い行いをしましょう。
備考	

